

教育と文化

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 238

言葉の体温計

このコーナーは、隔月のシリーズで掲載しています。これを手がかりに、家庭で人権・同和問題について話し合ってみましょう。

『ポリティカル・コレクトネス』という言葉を聞いたことがありますか。1980年代のアメリカで始まった概念で『政治的・社会的に公正・中立で、偏見や差別性が含まれていない言葉』のことです。

近年アメリカでは、クリスマスにあいさつに『ハッピー・ホリデー』という言葉が使われるようになりました。『メリー・クリスマス』はキリストの誕生を祝う意味の言葉なので、ほかの宗教を信仰する人たちへの配慮が背景にあるようです。

ほかにも『ビジネスマン』という言葉が『ビジネスパーソン』に見直されました。マンは男性を意味するのに対し、パーソンは人を意味します。仕事をするのは男性だけではないという当たり前の考え方によるものです。

日本でも『看護婦』が『看護師』に、『保母』や『保父』

が『保育士』に改められたように、国は違っても考え方は同じです。

さて、日本では古くから、言葉のことを『言霊（ことだま）』と呼んで大切にしてきました。言葉には人生を左右する大きな力があるとされてきたのです。例えば、うれしくて心が温かくなったり、悲しくて凍りつきそうになったり、たった一言でそんな気持ちになったことがありますか。きつと言葉は、体温を伴って私たちの心に届くのです。

私たちは人の心の温度を測ることはできません。でも、相手の気持ちを思いやることで、自分が語ろうとする言葉の体温を感じとることはできるはずですよ。

「いつも心に、言葉の体温計を持ちましょう」。ポリティカル・コレクトネスが教えてくれているのは、こういうことなのかもしれませんね。

郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑤

● 問合先 生涯学習課文化財係 ☎ 3186

法行城跡

法行城跡は、波多津町板木字長田の丘陵上に立地する城跡です。丘陵頂上の主郭（主要な曲輪）だったと思われる平坦部は、公園整備によって改変されているため、元の城としての状況は分かりにくくなっているものの、周辺に段地形が残されています。また、丘陵頂上から南東に延びる尾根上にも複数の曲輪が配置され、丘陵からの接続部分には堀切状の谷地形が残されています。

整備がされているため、市内の城跡としては比較的容易に見学することができます。北西側の市道から、コンクリート舗装の道が主郭のある頂上まで続いています。

法行城に関する当時の史料は確認されていませんが、後世の史料によれば『古家周防守』が創建し、『久家玄番』が居城したとされています。この久家氏が実在していたことは確認されていますが、法行城との関連性は明確ではありません。



↑ 法行城跡 丘陵頂部の石碑